

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35.42893 137.15091	施設ID 35.42893,137.15091
藤之木2号橋 (フリカナ)                      フジノキ2ゴウハン	町道四十八-杉ヶ崎線(2級)	可児郡御嵩町井尻字藤之木地内				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
御嵩町		普通河川	有	一般道	指定無し	-

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	6.0	6.0	上部構造                      下部構造                      基礎構造 311-③RC橋 _RC 中実床版      11-重力式橋台                      9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

技術的な評価結果			定期点検実施年月日		2024.10.3		定期点検者				
	想定する状況										
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他				
橋(全体として)	B		C		A		(                      )	—			
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 1	—	写真番号	(                      )	—	写真番号		
下部構造	B	写真番号 2	C	写真番号 2,5	A	写真番号 3	(                      )	—	写真番号		
上下部接続部	A	写真番号 4	B	写真番号 4	—	写真番号	(                      )	—	写真番号		
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	(                      )	—	写真番号		
その他(伸縮装置)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	(                      )	—	写真番号		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側





終点側




状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42893,137.15091		定期点検実施年月日		2024.10.3		定期点検者		0		0											
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造											
想定する状況		1.活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		2.地震		構成要素の状態		C									
																							
写真番号		1		径間		1		部材番号		桁下面		写真番号		2									
備考		損傷など見られず健全である。										写真番号		2									
備考		幅4.0mmのひびわれが見られる。										径間		1									
備考												部材番号		橋台A2側									
構成要素				下部構造				構成要素				上下部接続部											
想定する状況		3.豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		2.地震		構成要素の状態		B									
																							
写真番号		3		径間		1		部材番号		橋台A1側		写真番号		4									
備考		損傷など見られず健全である。										写真番号		4									
備考		ゴム支承										径間		1									
備考												部材番号		支承A1側									

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42893,137.15091		定期点検実施年月日		2024.10.3		定期点検者		0		0															
構成要素				下部構造				構成要素																			
想定する状況		2.地震		構成要素の状態		B		想定する状況				構成要素の状態															
																											
																写真番号		5		径間		1		部材番号		橋台A2側	
																備考		桁かかり長が不足している(400mm)。									
構成要素								構成要素																			
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態															
																写真番号		6		径間				部材番号			
																備考		(適宜、特記事項など)									
構成要素								構成要素																			
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態															
																写真番号		7		径間				部材番号			
																備考		(適宜、特記事項など)									
構成要素								構成要素																			
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態															
																写真番号		8		径間				部材番号			
																備考		(適宜、特記事項など)									

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.42893,137.15091		定期点検実施年月日		2024.10.3		定期点検者		0	0
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他					
上部構造	無	無	無	－	－	無	－	－			
下部構造	－	無	有	－	無	無	－	－			
上下部接続部	無	－	－	－	－	無	－	－			
その他(フェールセーフ)	－	－	－	－	－	－	－	－			
その他(伸縮装置)	－	－	－	－	－	－	－	－			

所見	<p>(適宜、所見を記入)</p> <p>【状態の把握】本橋は前回点検後に補修工事が施工されている。床版は、水切りが設置されておらず、排水管の長さ不足の影響による伝い水が見られる(健全性Ⅰb)。橋台は、前回点検で計上されたひびわれは全て補修されているが、A2橋台に前回未計上のASRが疑われる幅4.0mmのせん断方向のひびわれが見られる(健全性Ⅲ)。その他、地覆に局部的な遊離石灰を伴うひびわれが見られる(健全性Ⅰb)。その他の部材は損傷など見られない。橋台のひびわれを除き、前回点検時からの大きな進行は見られない。伸縮にはエラストイトが設置されている。</p> <p>【性能の見立て】上部構造の損傷は軽微であり、次回定期点検までに何らかの変状が生じる可能性は低いと考えられる。また、構造形式から平成5年より前に架設されたと推定され、現行活荷重25tには対応していない可能性が高いものの、これまで供用されている実態があることを踏まえると致命的な状態となる可能性は低い(評価A)。</p> <p>下部構造のひびわれは、支承直下のひびわれであるため、地震の影響により致命的な状態となる可能性がある(評価C)。また、橋台に洗堀が見られないことから、豪雨・出水時に何らかの変状が生じる可能性は低いと考えられる(評価A)。</p> <p>上下部工接続部の損傷は軽微であるが、架設年度(推定)から、現行の耐震基準を満足していない可能性が高く、地震時に何らかの変状が生じる可能性がある(評価B)。</p> <p>【予防保全の必要性】橋台のひびわれは幅4.0mmと幅広のため、ひびわれから劣化因子が浸入しやすい状態である。また、進行すると断面欠損に至り橋台の機能に支障が生じる可能性があるため、補修を行うことが望ましい。</p> <p>【道路利用者への影響】特に無し</p> <p>【措置の緊急性】特に無し</p>
----	---